



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R6年度 CS通信No.3 R6.6.3



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

鯨ヶ沢甚句の指導(舞戸小学校全学年)



5月13日(月)、舞戸小学校で、鯨ヶ沢町無形文化財保存会の会員による鯨ヶ沢甚句の集団指導が行われました。児童たちは、運動会で集団演技として全校児童で踊る他、高学年は、中学生・高校生たちと合同で流し踊りを行います。

当日の指導にあたっては、舞戸小担当の地域学校協働活動推進員の渋谷貴子さんが、同保存会の工藤八子会長にお願いして指導者を募り、昨年より多い13名の指導者が集まりました。保存会の皆さんは、足の出し方、手の開き方に気をつけて、リズムよく踊るようにアドバイスしていました。

1年生児童は、初めての練習でしたが、最後まで一生懸命頑張りました。踊りの感想を聞くと、「鯨ヶ沢甚句の踊りは難しかったけど、楽しかった。」と、元気よく答えていました。

天童山への町探検(西海小学校2年)



5月16日(木)、西海小学校2年生児童12名

が、町探検で天童山に登りました。

この町探検には、西海小担当の地域学校協働活動推進員の工藤律子さんのよびかけで9名の学校支援ボランティアが集まりました。

児童たちは、西海小学校から天童山に登り、高台からの景色を見て、歓声を上げていました。

帰りは、天童山から階段を使って本町に下り、本町から西海小学校に登ったので、かなり長い距離を歩きました。

子どもたちは、学校支援ボランティアの励ましを受けながら、最後まで誰一人遅れることなく元気に完歩しました。

北前船と鯨ヶ沢(鯨ヶ沢中学校2年)



鯨ヶ沢中学校第2学年では、「ふるさと学習」五本柱の一つである日本遺産北前船文化の学習を進めています。

今回の学習では、北前船寄港地である鯨ヶ沢の歴史と文化の魅力を調べ、町を訪れる人々に旅の提案をすることにしました。

5月17日(金)は、社会教育課の中田書矢総括学芸員から北前船と鯨ヶ沢の関連を聴き、何を調べてどのような旅にするのか学習の計画を立てていました。

北前船の資料を見るだけでなく、タブレットでネット検索をしても良いことを知り、生徒は、学習意欲をさらに増すことができました。

今後は、グループごとに学習を続け、参観日に保護者を対象に、日本海拠点館で発表会を行う予定です。どんな発表になるのか楽しみです。